



↑今年約60の学術系企画を予定。実行委員会が研究室まで案内してくれるラボレクチャーや、複数の研究室を順番に回るつまみくいツアーなどもあります(事前予約または豊田講堂前で当日の予約が必要)



↑昨年のスポーツフェスティバルはバレーボールとフットサルを開催。今年は、バレーのプロチームも出場。9日に市内の中学生を対象とするスポーツ教室も開催されます



↑看板は1枚1枚手書きで制作。集中して丁寧に書き上げていきます



↑2日目に開催された盆踊り。子どもたちも浴衣で参加しています



↑山のように積み上げられた看板を運んで制作を開始。600人が協力しなければ、とてもつくりきれません



↑看板は1枚1枚手書きで制作。集中して丁寧に書き上げていきます

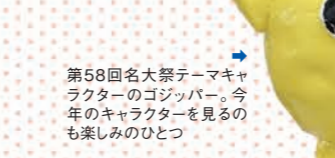
6月上旬に開催される名大祭。毎年およそ8万人の来場者が訪れる、東海地区でも最大規模の大学祭です。第59回となる今年のテーマは「**夢路**」。企画運営を担う名大祭実行委員会を訪ね、今年の見どころを聞きました。

地域に向けて学生の力を発信!

巻頭特集 第59回名大祭



↑実行委員会が集めた古本やCD、ゲームなどを販売。オリジナルのしおりとブックカバーづくりもできます



↑第58回名大祭テーマキャラクターのゴジッパー。今年のキャラクターを見るのも楽しみのひとつ



↓大学内を回る、キャンパスラリー。昨年はスタンプラリーとクイズラリーの2種類を開催しました



↑オープニングイベントは第2グリーンベルトステージで開催。ピンゴや菓子まきで盛り上げます



↓文学部棟やグリーンベルトに面するメインストリート。バザーやフリーマーケット、屋台が並ぶため、大勢の人でにぎわいます

準備期間8カ月 名大祭をつくる委員会

東海地方を代表する国立名古屋大学。創設は昭和14(1939)年で、約80年の歴史を誇ります。毎年東山キャンパスで開催される名大祭は、サークルや部活動による約100種類のイベントが楽しめます。学生によるステージイベントだけでなく、研究室の一般公開や授業体験など、学術系企画も充実。一般の見学者が学内の最先端研究に触れる機会となっています。

企画や運営を担うのは、学生で構成されている名大祭実行委員会。毎年11月頃から翌年の名大祭に向けた準備が始まります。 「11月は、メンバーで翌年の企画を練り、有志の受け入れ態勢を整えていきます」と話すのは、実行委員長の柴田一輝さん。年明けから有志の参加を募り、公式パンフレットなどの制作を始めます。



名大祭実行委員会 実行委員長 柴田一輝さん



名大祭実行委員会 広報局長 竹内瑞希さん

当夜祭やスポーツ大会など 日替わりの企画も充実

4月上旬に、新入生を対象とした実行委員の募集を開始。今年は1年生約500人が加わり、合計約600人で、開催準備を進めています。 今年のテーマは「夢路」。委員会がいくつか提案した中から、学内アンケートを経て決定しました。「夢を持ち、夢に向かって行動を起そう。そんな意味が込められているんです」と広報局長の竹内瑞希さんが話します。

開催日は6月7日から10日までの4日間。学術系企画以外にもさまざまなイベントが用意されています。 7日の夜は、大学のシンボルである豊田講堂の前に特設ステージを用意し、当夜祭「百喜夜行!」一緒にトウナイトしない?」を開催。豪華な景品が当たるクイズや、学内で最もダサい人を決めるというユニークな企画「ダサコンテスト」を実施します。 ファイナレには、来場者全員で携帯電話やスマートフォンをマートフォンのライトをかざして華やかな景色を演出。「名大祭では初めて行う企画です。皆さんで、ライブ会場のようない体感をつくり出しましょう」と竹内さんは呼びかけます。

体育館やグラウンドの目玉は、8日から10日にわたるスポーツフェスティバル。日替わりでバドミントン、フットサル、バレーボールのトーナメント戦が開催されます。9日には、Vリーグに所属するプロバレーボールチーム「大同特殊鋼レッドスター」の選手がコーチ役となる、スポーツ教室も実施。もちろん見学は自由で、練習後にはサイン会も予定されています。 最終日の10日は、13時からNHK解説委員の水野倫之さんを招いて、IB電子情報館の大講義室でエネルギー問題をテーマとした講演が行われます。また、豊田講堂ホールでは学生お笑いコンテストを開催。学生の漫才やコントの後に、お笑い芸人のサンシャイン池崎さんが登場し、会場を盛り上げます。 「大物ゲストと接することで、子どもたちや来場者に夢を与えるきっかけになれば」と、竹内さんはイベントに込めた思いを話します。

「初日の昼には、オープニングイベントとして風船飛ばしや菓子まきを企画。子ども連れの家族から高齢者まで、どんな人でも楽しめる大学祭をつくり上げたいと思います」と柴田さん。 大学祭の企画、運営やパンフレットづくりには、大学周辺の企業や商店などの協賛が不可欠。「地域のさまざまな方の協力で成り立っているお祭りですから、皆さんの応援を裏切らないよう、当日に向けて一生懸命準備していきたい」と竹内さんも力を込めます。 期間中はキャンパス内に授乳やおむつ交換用のスペースを設置。車いすの貸し出しも行うなどバリアフリーに配慮し、地域に開かれた大学祭を目指しています。

「名大祭は、私たちが研究やサークル活動などの成果を発揮して、学生の力を広く発信する場。たくさんの企画がありますので、大学の中を隅から隅まで回ってもらえるとうれしいです」と、2人は笑顔で話します。 研究室の授業体験やステージイベントなど、学問から祭りの要素まで取り入れた名大祭はもうすぐ開催。皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

Information
第59回名大祭
6/7(木)~10(日)
 10:00~20:00 (木曜は12:00~、日曜は~19:30)
 会場
 名古屋大学 東山キャンパス(千種区不老町)
 問い合わせ
 052-789-5178(名大祭実行委員会オフィス)
 詳細はウェブサイト参照
<http://meidaisai.com/>